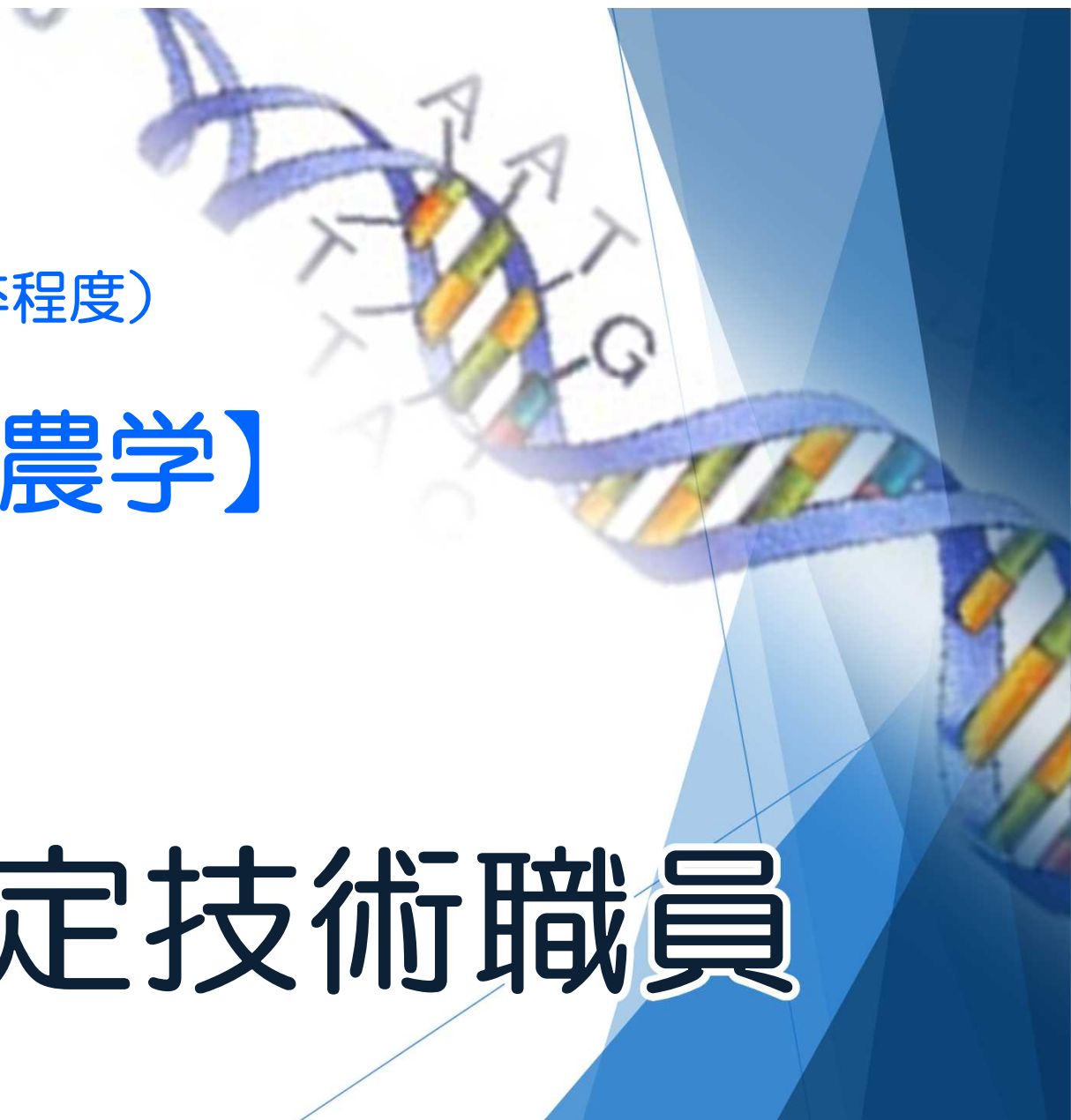


令和5年度 一般職試験（大卒程度）

【区分：化学・農学】

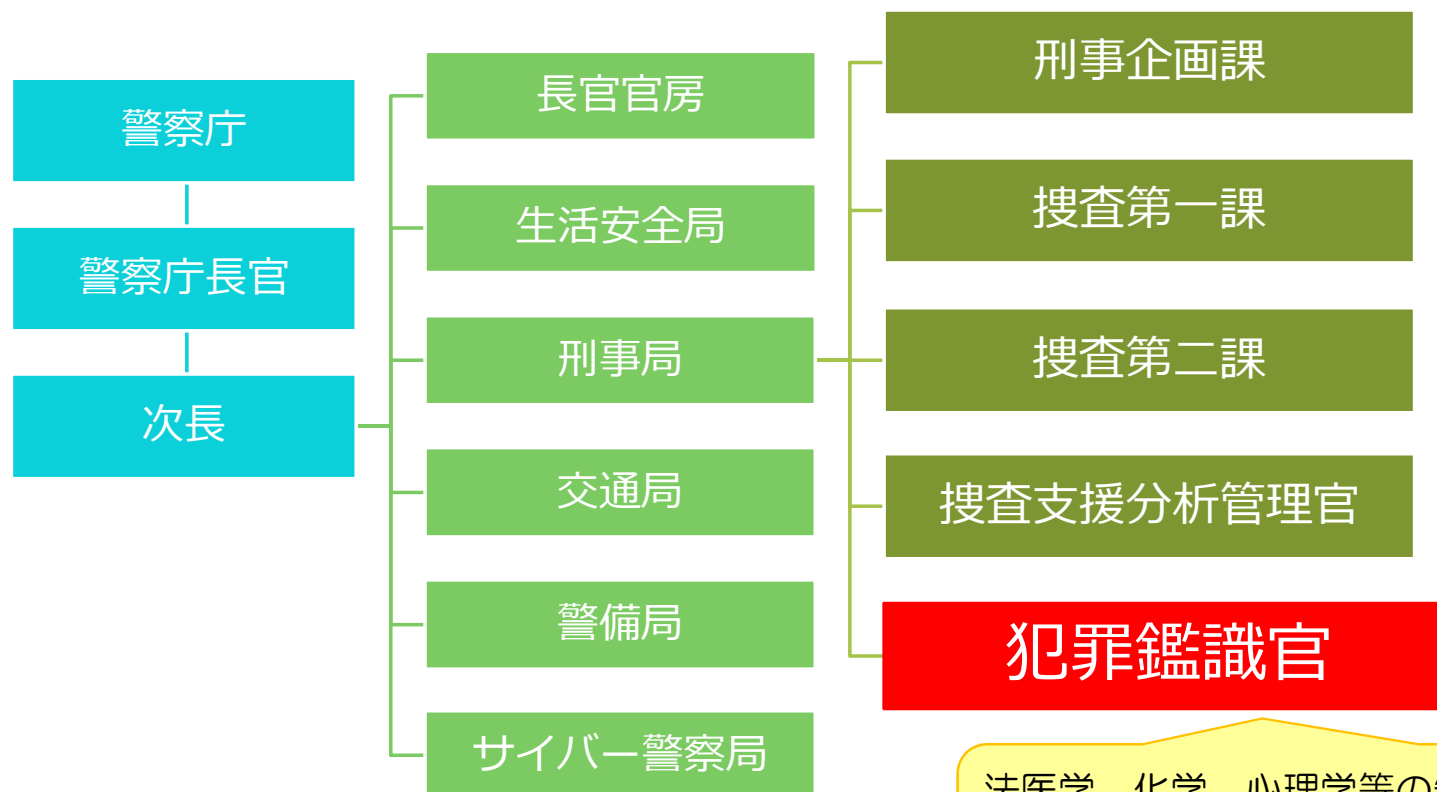
警察庁の

DNA型鑑定技術職員



組織概要

警察庁のDNA型鑑定技術職員は警察庁 刑事局 犯罪鑑識官に所属しています。



法医学、化学、心理学等の知識及び技術を応用し、DNA型、指掌紋、足痕跡、現場遺留物、写真等から捜査を科学的、合理的に進めるなど、犯罪鑑識全般に関する業務を担当しています。

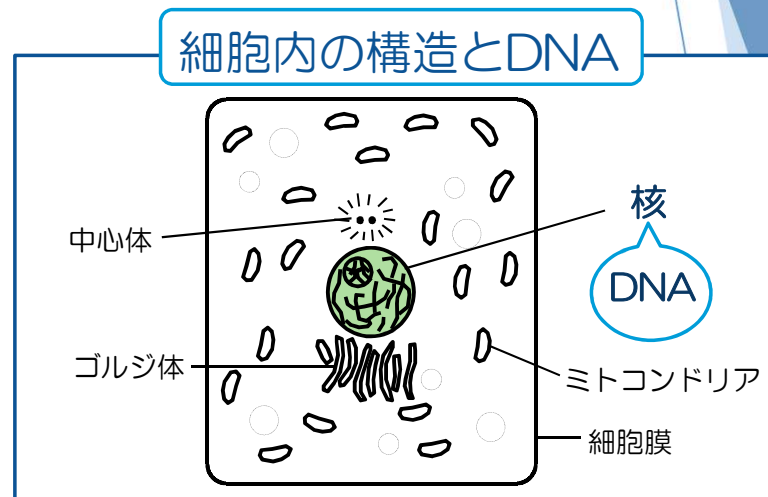
DNA型鑑定とは

DNA（デオキシリボ核酸：DeoxyriboNucleic Acid）とは？

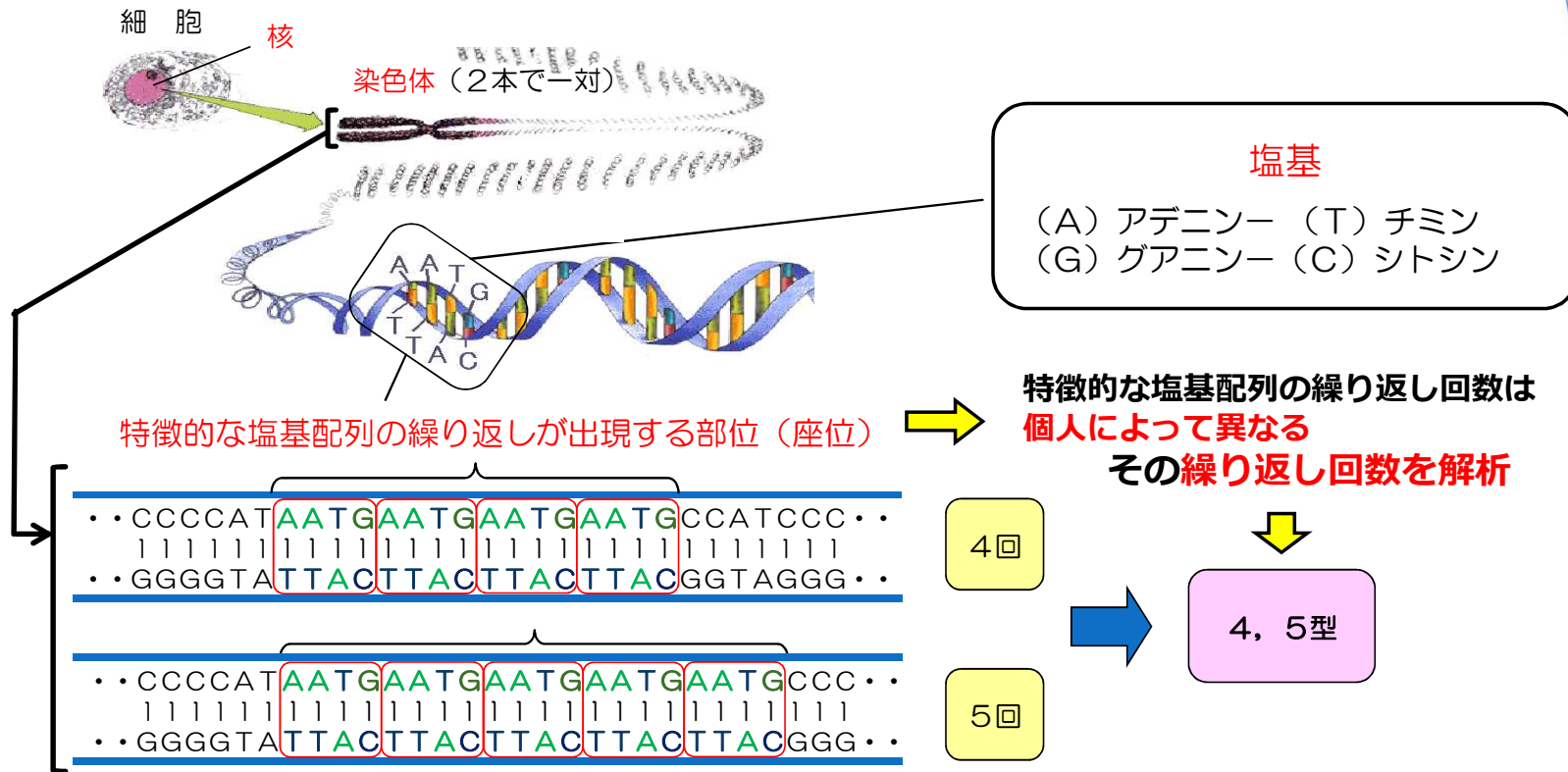
- 生物の身体を構成する細胞中の核内に存在
- 生物の身体を作り上げる情報を含んでいる物質
- 人の身体にある数多くの細胞ごとに存在
- 各細胞内のDNAは基本的に同一
（例）1人の人間の血液、皮膚、唾液に含まれるDNAは同一

DNA型鑑定とは？

- 1人1人のDNAに異なる部分があることに着目
- DNAから個人差のある部分の情報を抽出、比較し、個人識別に役立てる
- 犯罪捜査においては、
 - 犯罪現場に残された血痕
 - 被疑者の口腔内細胞などの鑑定を行い、これらのDNA型を比較し、その血痕等が被疑者に由来するか否かを見極めるために使われている



警察におけるDNA型鑑定(S T R型検査法)

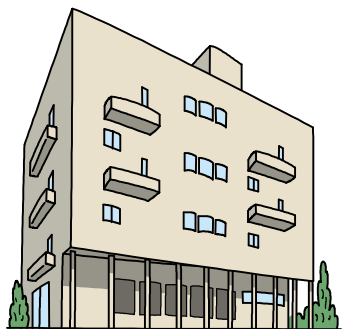


23対(46本)の染色体上の24の部位(座位)の塩基配列を解析
→ 日本人で最も出現頻度の高いDNA型の組み合わせの場合で、約565京人に1人

犯罪鑑識官のDNA型鑑定業務

都道府県警察

被疑者や現場などから
鑑定資料を採取



口腔内細胞の
鑑定囑託



鑑定資料の送付

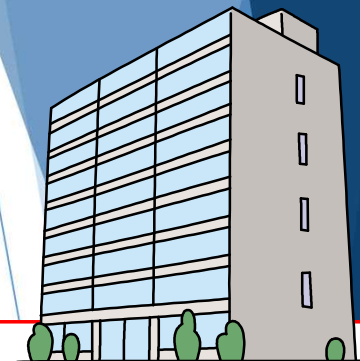
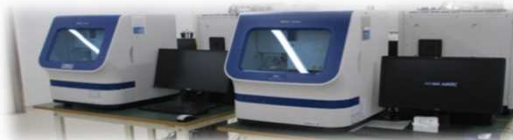


鑑定結果

鑑定書の送付

警察庁犯罪鑑識官
DNAセンター

DNA型鑑定・鑑定書作成

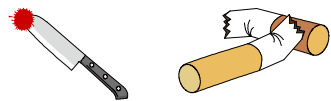


遺留資料の鑑定囑託

鑑定結果

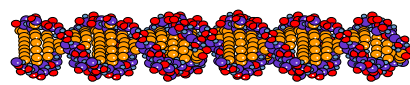
科学捜査研究所

遺留資料の鑑定



科学警察研究所

鑑定技術の研究



入庁後の流れ（一例）

1～2年目
(警察庁)

- ◇ 初任科（2週間） 警察職員として基礎を学ぶ
- ◇ 養成科（3ヶ月） 鑑定人としての基礎を学ぶ

3～4年目
(都道府県)

- ◇ 科捜研へ（2年） 都道府県警察の科学捜査研究所へ出向

5年目
(警察庁)

- ◇ 専攻科（3週間） DNA型鑑定を学ぶ、鑑定人としての資格を取る

6年目
(警察庁)

- ◇ 現任科（3週間） 鑑定人として必要な知識を深める

ある鑑定技術職員の日

9:20	出勤	本日のスケジュールの確認、メールのチェック等を行う
9:30	始業	上司から指示を受け、当日の作業内容を確認する
9:45	鑑定	クリーンルーム内において鑑定資料のDNA型検査を行う
11:00	業者との協議	最新鑑定機材の導入に向け、関係業者と協議を行う
12:00	昼食・休憩	同僚と食堂でランチ
13:00	鑑定	解析室で検査データを解析し、鑑定書を作成する
16:30	意見交換会	鑑定内容や鑑定機器等に関する意見交換をする
18:15	終業	執務室内の整理整頓と翌日のスケジュール確認後、帰途につく

Q & A

Q 専門の知識が必要ですか。

A 入庁時は国家公務員採用一般職試験で求められる化学・農学についての教養があれば問題ありません。入庁後はいきなり鑑定を行うわけではなく、業務を通じてDNA型鑑定の技術を習得するほか、専門機関での研修等を行い、資格を取得してから鑑定業務を行うこととなります。

Q 採用実績は？

A 平成25年度（平成26年4月1日採用）から採用をはじめ、これまでに採用したのは18名、令和4年度（令和5年4月1日採用）は4名を採用しました。

Q 採用後の勤務地は？

A 警察庁のDNA型鑑定は、千葉県柏市（最寄り駅：柏の葉キャンパス駅）、埼玉県さいたま市（最寄り駅：さいたま新都心駅）の2か所にあるDNAセンターで行っています。

Q 福利厚生は？

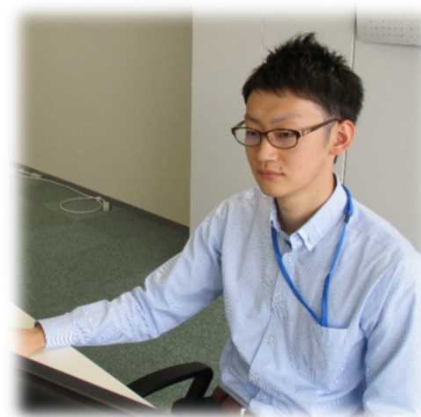
A 勤務場所に依じて公務員宿舎があります。また、民間のアパートに居住する場合は住居手当の受給（限度額28,000円）を申請することも可能です（令和4年度時点）。

入庁後は全員が警察共済組合に加入することとなり、全国各地にある宿泊所、レジャー施設等各種契約施設を割引料金で利用することができます。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官
DNA型鑑定係

平成27年 警察庁採用（一般職化学区分）
平成28年 山梨県警察本部刑事部科学捜査研究所
平成30年 現職



◇ 仕事のやりがい

DNAセンターで鑑定した被疑者のDNA型が全国の重要事件や過去の未解決事件の検挙に結びつくことがあるということに大きなやりがいを感じています。

◇ 職場の雰囲気

DNAセンターは警察庁の中でも現業部門を担当しており、他のセクションに比べて若手職員が多いと思います。また、鑑定係には全国の科捜研からの出向者も在籍しており、ユニークな経歴の鑑定技術職員が集まっています。鑑定業務はミスが許されないので、全員で意思疎通を図りながら進めていかなければなりません。そのため、仕事の話はもちろん、楽しい雑談も年齢や経歴など分け隔てなく気軽にできるので、本当に働きやすい職場と感じています。

◇ 志望動機

私の周囲では、他省庁に理系区分で採用されても、実際には行政事務に従事している人がほとんどだったのですが、ここでは、科学的な知識と経験を活かせる機会が多く、また、警察におけるDNA型鑑定の科学技術力の水準はすごく高いので、専門的な知識や技術が不可欠であるところに魅力を感じました。

◇ 休日の過ごし方

よく郊外までドライブに出かけています。休日に突然出勤しなければならないような突発的な業務もありませんし、通常業務は見通しが立てやすく、自分の段取りで仕事を進められるため、平日も休暇が取りやすい恵まれた職場環境だと思います。

◇ 志望者へのメッセージ

大学で学んだ科学的な考え方や技術を生かすにはとても良い仕事です。生物やDNAの分野に関する知識がなくても、新しい分野に挑戦して学ぶ姿勢があれば、採用後にはDNA型鑑定に関する研修がとても充実していますし、私もほとんどゼロからのスタートだったので、みなさんも安心して下さい。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官
DNA型鑑定係

平成30年 警察庁採用（一般職化学区分）
平成31年 沖縄県警察本部刑事部科学捜査研究所
令和 3年 現職



◇ 仕事のやりがい

事件解決への寄与度の高さにやりがいを感じています。個人識別力の高いDNA型鑑定は、事件の真相を明らかにするために非常に重要で責任ある仕事です。

◇ 職場の雰囲気

職員同士の仲がとても良く、わからないことや困っていることなどを上司や先輩方に相談すると、親身になって優しく丁寧に教えてくれます。

◇ 志望動機

大学で学んだ知識を活かして、国民全体の安心安全な生活に貢献できる仕事をしたいと考えました。国民の安心安全な生活に絶対的に不可欠な事件解決、その事件解決のための有用なツールとなるDNA型鑑定に深く関わることができるため、このDNAセンターでの勤務を志望しました。

◇ 大学での研究内容

地球温暖化に影響を与える温室効果ガスである亜酸化窒素を削減するために、微生物の力を応用することを目的とした研究を行っていました。

◇ 志望者へのメッセージ

DNAセンターの業務はとても責任が重く、ときには苦労することもあります。大変やりがいのあるものだ実感しています。全国の事件解決に貢献したい方、DNA型鑑定に興味がある方、ぜひ、私たちと一緒に働きましょう。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官
DNA型鑑定係

令和元年 警察庁採用（一般職農学区分）
令和2年 福岡県警察本部刑事部科学捜査研究所
令和4年 現職



◇ 仕事のやりがい

自分の知識・技術を生かして社会の安心・安全を守ることができる点にやりがいを感じています。DNA型鑑定は人の人生を左右する事もある非常に責任の重い仕事ですが、その分やりがいも大きいです。

◇ 職場の雰囲気

職員同士の仲が良くチームワークの良い職場です。分からない事や困った事があると上司や先輩がいつでも親身になって聞いてくれるので、安心して働くことのできる職場だと思います。

◇ 大学での研究内容

培養細胞中のタンパク質の酸化還元状態を指標とすることで、酸化ストレスに対する食品成分の効果を研究していました。

◇ 志望動機

大学で学んだことを生かしながら、事件の解決に貢献できる点に魅力を感じました。また、DNAセンターでは研修制度が大変充実しており、働きながら成長できる職場だと思い志望しました。

◇ 志望者へのメッセージ

官庁訪問ではどの省庁を受けるのか悩まれる方も多いと思います。私自身も他省庁、他自治体と併願をしながらの就職活動でした。科学的な知識、技術を生かして社会の治安維持に貢献できる点はこの職場ならではの点だと思います。皆さんもDNA型鑑定技術職員として一緒に働いてみませんか？

おわりに

警察庁は、全国29万人のマンパワーを擁する警察組織の中核機関であり、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全確保と秩序を維持することを任務としています。

DNA型鑑定技術職員の成果は、犯人を特定する極めて重要な証拠として活用されており、**現在の犯罪捜査になくてはならない責任とやりがいのある仕事**です。

みなさんのやる気と能力を**DNA型鑑定技術職員**として活かしてみませんか。

- 採用の情報は警察庁ホームページを確認してください。
- 採用に関する問合せ

警察庁刑事局犯罪鑑識官 採用担当

電話：03-3581-0141 **(内線830-4621)**

Mail：kanteigijutsushokuin-saiyou@npa.go.jp